事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-08 戦傷病者戦没者遺族等援護事業 □支援部門						
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	戦没者の遺族に対する援護活動を通じて、戦没者追悼式など戦没者等への追悼の意を表するとともに、平和を祈念する。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
運営資源状況	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
	決算値(千円)	701	702	754			
	(国・県)	99	101	108			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	602	601	646			
	人員配置数	0.4	0.4	0.4			
人件費(千円)	3,294	3,580	3,613				
事務事業運営経費	協働のパートナー	無	無	無			
	総事業費(千円)	3,995	4,282				
	市民1人当りの経費(円)	23	24				
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
戦傷病者戦没者遺族等援護事業	701千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	戦没者のご冥福と恒久平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催するとともに、戦没者等の遺族への特別弔慰金等の請求受付事務を行う。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	特になし		
課題解決のための取組	特になし	取組の結果	□解決 □未解決
未解決の課題	特になし		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			今後も継続し事業を進めていく。	↓ B	課長等名 生活福祉課長 曾根 健治

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	タイムコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
戦傷病者戦没者遺族等援護事業	10	戦没者追悼式参列者記念品	147	147	○	○	○	○
		戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料	58	58	○	○	○	○
		戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料	231	231	○	○	○	○
		鎌倉市遺族会補助金	180	180	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							